

# 胃・十二指腸内視鏡検査(胃カメラ) 問診表および同意書

胃カメラでは模様の乱れ以外に色調での判断や胃の粘膜を取る処置(生検)により、がん細胞検査(病理検査)が可能になります。鼻からの胃内視鏡検査では、鼻の穴が小さい方や鼻血が出やすい方は口からの胃カメラへ切り替える可能性(20~30人に1人)があります。

基本は鼻から胃カメラを入れますが、食道がんのリスクの高い方(50才以上、喫煙歴や3合以上の飲酒歴が25年以上(禁煙者、禁酒者含む)は、食道の観察時間が長くなって苦しい検査になることがあるので鎮静剤を使った口からの胃カメラをお勧めします。

## 《合併症について》

確立された方法で行っても合併症の確率は約8,000人に1人と報告されており、まったく危険がないともいえません。十分に注意をして行いますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

- 検査用の薬(鼻、のどの局所麻酔、胃腸の動きをおさえる注射や鎮静剤)により呼吸困難・けいれん・血圧低下などの副作用を起こすことがあります。
- 胃の粘膜を取る処置(生検)の後、3日間は出血をきたしやすいので血を固まらないようにする薬(抗凝固剤)や飲酒は控えていただきます。

清水内科クリニック

清水 秀幸

問診表	回答欄	
今までに胃や大腸の内視鏡検査を受けたことが	ない	ある
内視鏡検査や抜歯時の麻酔薬で体調が悪くなったことが	ない	ある
以下の病気のため治療をすすめられたことが (緑内障・前立腺肥大・不整脈・狭心症・心筋梗塞・脳梗塞・糖尿病)	ない	ある 治療中 (病名 )
血を固まらないようにする薬を服用していますか (バイアスピリン・ワーファリン・パナルジン・プラビックスなど)	いない	している (品名 )
鼻炎(花粉症)や鼻血など鼻の病気で通院したことが	ある	ない
ヘリコバクター・ピロリ菌の検査や治療を受けたことが	ある	ない・わからない

上記の内容を理解の上、内容に間違いがなければ署名をお願いいたします。

胃内視鏡検査に関する上記の内容を理解しましたので、胃内視鏡検査を受けることに同意します。

平成\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日 署名\_\_\_\_\_